

瀬田 彰 AKIRA SETA (フラメンコギター)

14歳よりギターを始め、高田鍵三に師事する。
大学在学中よりプロ活動を開始し、1975年と1983年に渡西、セビーリャにてホアキン・アマドールに師事する。
帰国後、1984年よりソロ・リサイタルを開始。
1986年現代ギター社より「フラメンコ・ギター教本」、ビデオ「フラメンコ・ギター・レッスン」、1989年に「野いちご」「情熱のフラメンコ」の曲集およびCDを出版・発売。以降曲集やDVDなど多数をリリースしている。
2005年より台湾及び韓国等でコンサート活動を開始する。
ごく最近では「フラメンコギター・テクニックDVD」を2012年6月に発売した。
GG学院「フラメンコ・コース」講師などを務め後進の指導にも力を注いでいる。

森田茂 SHIGERU MORITA (クラシックギター)

東京 浅草生まれ
年少からのイタズラと悪さの連続が原因？で埼玉の祖父の家に追い出される。
第1回目の都落ちである。
17歳の時にベルギー国際コンクールでファイナルをつとめ注目を浴びる。
中央大学法学部入学と時を同じくしてギタリストとしてもスタートする。
人生の絶頂から奈落の底に行ったり来たりジェットコースター人生を送る。
その後、ギターを捨て熊野の地で隠遁生活をおくる。
これが第2回目の都落ちとなる。
10年経った頃、再度ギターを手に持ち自宅で弾き始める。
その地域に住む熊、猪、鹿さんたちに五月蠅いと追い出され中国上海に。
現在、さいたま市に住み国内の演奏や上海の演奏・指導に情熱を注いでいる。
上海交響楽団、上海室内管弦楽団、上海音楽院チェンバーオーケストラなどとロドリゴやポンセの協奏曲で共演している。
東京文藝祭2008において音楽・芸術部門特別賞を受賞する。
2009年には音楽活動復帰20周年演奏会を開催する。
2011年7月、音楽誌ギタードリームに特集記事が掲載され、「屋根の上のギター弾き」と紹介される。
上海音楽院客員教授。

ホームページURL <http://shigeru-m.com/>

鮑捷(ほう しょう)

中国天津生まれ、8歳より琵琶を始める。天津音楽学院大学、琵琶本科卒業。'90年天津市春芽杯民族コンクール優秀表演賞。
卒業後、天津大学北洋芸術団の琵琶教師となる。'02年来日。'08年東京学芸大学大学院修士課程終了。
各地でコンサートなど演奏活動を行っている、その確かな技術とその音楽性は高く評価されている。

「飛鳥Ⅱ」「ニッポン丸」イギリス「ADONIA」豪華客船に乗船し演奏、炎の料理人金萬福氏とともに本格中国料理を味わう楽しい美食会「華食の宴」に出演、
「見えぬものでもあるんだよ」金子みすず よみがえり二十五年の軌跡に出演、
日中合作映画「叶問」の音楽に参加、日中合作アニメーション「三国演義」完成発表会で演奏。
マイク真木ライブに参加。福岡2010アジア太平洋フェスティバルに出演。
天台宗延寿会に出演。横綱白鵬激励会に出演。
ラジオ日本 AM ほのぼの7月ゲストに出演、ラジオ日本主催のランチタイムコンサートに出演。
マイク真木さんがパーソナリティーの渋谷FMのSound Ecology Toneに出演。
2010年 2月24日 鮑捷「変わるもの変わらないもの」アルバム発売。
「変わるもの変わらないもの」アルバム発売記念ライブ開催
2011年 フラメンコギター・クラシックギター・中国琵琶、の3本の撥弦楽器で
Gap Pauseというグループを組んで、近江楽堂でコンサートを開く